

写真
で見る

11月労働者集会 国際連帯20年の歴史

●イラク戦争反対ストで韓米日の連帯はじまる

11月労働者集会は、2003年から韓国・アメリカの労働組合代表団が参加する国際連帯集会として発展してきました。国鉄1047名解雇撤回闘争をきっかけにアメリカの労働者と知り合い、おりしも米ブッシュ政権によるイラク戦争の開戦に反対する国際反戦デモが高揚した時期でした。イラク反戦を掲げた動労千葉の3月ストライキ(列車約600本が運休/写真1)の報は世界に拡散し、7月にサンフランシスコに招聘され(2)、全米最強とも言われるILWU(国際港湾倉庫労組)などとの国際連帯がはじまりました。

同じく2003年8月、民営化と非正規職化に立ち向かい、韓国軍のイラク派兵反対を闘っていた韓国労働組合のナショナルセンター民

主労総ソウル地域本部の代表が来日しました(3)。動労千葉は10月に韓国に民主労総タンビョンホ委員長らを訪ね(4)、ソウル地域本部との連帯関係がスタートしました。同年11月の日比谷野音で日韓米の国際労働者集会が開催され(5)、日韓米労働者の連帯を発展させてきました(6)。米国では2004年に労働運動の新潮流を目指すミリオンワーカーマーチ(MWM)が首都ワシントンで開催され、動労千葉も参加しました(7)。

ILWUは2008年5月1日、イラク・アフガニスタン戦争に反対しアメリカ西海岸の全港湾を封鎖する反戦ストに立ち上がりました。このILWUのストライキ(8)に呼応し、イラクの原油積出港であるバスラの港湾労働者(9)が、アメリカ軍の銃剣をはねのけて1時間ストに立ち上がりました。

●「日の丸・君が代」闘争で日米の教育労働者の連帯

以後、「日の丸・君が代」不起立闘争をきっかけとした米サンフランシスコの教育労働者との交流(1011)、ブラジル、ドイツ、英国、イタリア、トルコ、台湾、香港、中国、フィリピンなど、戦争と民営化一新自由主義に立ち向かう労働者の国際連帯を形成してきました。

2016年にはパク政権を倒したろうそく革命の闘いに合流(12)、民営化と闘う韓国鉄道労組との連帯(13)も強まりました。軍事クーデターと闘う在日ミャンマー人も多数参加しています(14)。今年が国際連帯20年の記念の集会です。多数の海外ゲストも参加します。

